

## 申込書の作成にあたって（新規航海提案型）

この申込書は、研究船共同利用運営委員会における選考ならびに研究計画案の作成に当たって、重要な資料となるものですから、正確に記入してください。

1. 研究課題：一つの研究課題と考えられるものを複数に分けて申請することは避けて下さい。所属にかかわらず、同一の研究グループによる同一の研究内容の申し込みは、一つの申込書にまとめて提出してください。また、新青丸もしくは他船の公募との重複した申請は出来ません。
2. 研究代表者・分担者：すべての研究分担者（大学院学生等を含む、ただし実質的に研究を分担する者に限る）の氏名・研究分担・所属機関・職名（学年）を記入してください。来年度入学予定の大学院学生に関しては、氏名欄に氏名の代わりに“入学予定”と記入し、予定の研究分担、所属機関、学年を記入してください。「旅費負担」欄（この欄の記載内容は評価には関係しません）は、申し込み者の研究予算で負担可能の場合は“有”、そうでない場合は“無”としてください。なお、共同利用予算に制約があるため、“無”とされた場合でも一部の負担をご相談することがあります。「乗船・非乗船」欄は、研究分担者のうち乗船予定の方に“○”としてください。
3. 乗船期間及び海域：「必要観測日数」は観測に要する実日数（寄港地から観測海域までの回航に要する日数を除く）を記入してください。観測内容等により、他の複数の研究課題と合わせて一つの航海となるよう計画されることがありますのでご承知おきください。
4. 研究目的・内容：研究の背景・研究目的・内容・重要性等を、分かりやすく枠内で記載してください。研究業績欄に記載されている成果を適宜引用してください。
5. 研究計画：研究目的を達成するためにどのような観測を実施するのか、測点、測線、観測日数の算出根拠等を分かりやすく記載してください。特に、白鳳丸での航海を必要とする理由も記載してください。複数年度にわたる計画の場合の全体における本航海の位置づけ、他の計画との関連、他の研究機関との連携等、審査

の参考となるものがあれば枠内で書いて下さい。今までに白鳳丸での使用経験のない観測機器での調査、浅海域での調査など、実施可能性について技術的な検討が必要な課題については、事前にお問い合わせいただいた上で応募してください。

6. 観測希望時期等：観測希望時期、寄港地等、航海計画作成にあたり要望事項があれば、理由とともに記載してください。なお、既に平成 28・29・30 年度白鳳丸共同利用公募等によって実施が予定されている航海の日程等については、別紙 3「平成 30 年度学術研究船白鳳丸研究航海概要」を確認してください。観測希望時期を限定される場合は、線表作成の都合により希望時期に航海を組み込めなかった場合どのようにされるのか記載ください（例：申請を取り下げる）。乗船予定の研究者が少人数の申請の方は、他の申請と乗り合いが可能か記載してください。観測時に技術支援の必要がある場合は、合わせて記載してください。技術支援の詳細について、ご不明な点がありましたらお問合せ下さい。
7. 研究業績：本研究計画に関連する業績について、枠内で記載してください。研究代表者名には二重下線、研究分担者名には下線を引いてください。また、白鳳丸・淡青丸・新青丸を使用したものについては、それぞれ（H06）（T10）（S16）のように航海年度とともに示してください。
8. 他航海への応募・最近の航海採択・不採択状況：研究代表者および研究分担者の方が、白鳳丸・新青丸もしくは他船の公募に、研究代表者もしくは研究分担者として応募されている場合は、状況を記載してください。本応募との関連についても記載してください。また、研究代表者の方の最近（過去 3～5 年程度）の新青丸・白鳳丸もしくは他船の航海の採択・不採択状況も記載してください。
9. 乗船時に外国の大学・研究機関等に所属する乗船者は、共同利用手続き上、日本の大学・研究機関等に受け入れていただかないと、共同利用経費からの旅費・食費等の支給ができません。
10. 日本の領海（12 海里）外に機器を設置・放流する場合、輸出貿易管理令で規定する機器に該当するかどうか確認して下さい。採択された場合、該当機器は研究者が所属する機関を通じて許可申請を行ってください。

11. 沿岸域の観測にあたっては、当該海域の漁業関係者と調整を行っていただくことがあります。